

	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R4・7・6
			No.22

<保護者のみなさまへ>

統計開始以来、最も早い梅雨明けとなりましたが、まだまだ雨の日が続いています。学校では期末テストも終わり、各学級では子どもたちが一学期を振り返り、自分自身の成長を確かめ、今後に向けて努力すべき所などをしっかりと理解した上で、夏休みを迎えられるように指導していきます。また、今月は各学級において三者面談を行います。一学期の子どもの様子や夏休みの過ごし方などについて、学校と保護者のみなさまが共に子どもを育てるという視点から、子どもを交えてより深く具体的に話し合う機会になればと思います。お忙しい中ですが、よろしくごお願い申し上げます。

さて、国が定める教育課程の基準である学習指導要領では、子どもたち一人ひとりに「生きる力」を育成するために、各教科等において、右の三つの資質・能力を育成することとされています。このことをふまえ、本校では各教科ともに

①「知識及び技能」

(知識及び技能の習得状況とそれらを他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか)

②「思考力、判断力、表現力」

(知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか)

③「主体的に学習に取り組む態度」

(自らの学習状況を把握し、粘り強く取り組み、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているか)

の3つの観点について、それぞれ、A(十分満足できる)、B(おおむね満足できる)、C(努力を要する)の3段階で評価します。そして、その評価に基づき1~5の5段階で評定を出します。子どもや保護者のみなさまに学習状況を伝え、子どもにとって今の課題は何なのかを明らかにし、子どもがその後の勉強や

活動をがんばっていくためのきっかけとすることを目的として、これらの評価を通知表にてお知らせいたします。詳しくは、先日配付しました「令和4年度通知表の評価について」をご覧ください。

↓ ~学習指導要領リーフレット(文部科学省)~



保護者の皆さまへ

子供たちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、とても大切です。

お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。

保護者の皆さまの働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。



リーフレットの一部を紹介
 します。ご家庭での会話等
 の参考にしていただければ
 と思います。

DATA

保護者の働きかけがある子供の学力は高いという傾向があります。例えば……

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム(携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む)をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。

(平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究)

← ↓ ~学習指導要領リーフレット(文部科学省)~